

# ごとう通信

第 261 号

令和 4 年 9 月 1 日

やっと暑い夏のピークも超えました。今年もいっぱい汗をかきましたね。世間的には異常気象と言いますが、個人的にはそこまでではありませんでした。訪問診療を始めて最初の夏（1998年）、体感的には今年の比ではなく暑く感じました。

訪問診療を始めた時は大病院に勤務していました。朝9時前から冷房のガンガン効いた病院に入り、帰りは夜の10時頃。それまでほとんど外に出ないのですから暑さ知らずで汗もかきません（冷や汗以外は）。そんな生活を数年やってからいきなり訪問に出たものですから体が全く対応できなかったのです。「夏ってこ

んなに暑いのか！」と痛感しました。今年も十分暑かったのですが、あの時ほどではないかなあと感じます。これも24年間鍛えた成果ということ。

さて、今度は過ごししやすい日が来ますね。と言っても最近秋が短く、飛ばされ気味ですが。個人的には真夏にさぼったジョギングも再開し、体力アップに努めたいと思っています。春から7月くらいまでボチボチ走っていたのですが、8月はさすがに厳しいと感じました。来年1月には久々にレースにもエントリーしましたし、気持ちよく走っていききたいです。



からずあると思います。ここでしっかり体調を整え、体力をつけていきましょう！

## レントゲンのデジタル化

診療室も20年近くやっている器械の老朽化は否めません。そんな中の1つがレントゲン。最近ではこの診療室でもデジタル化が進み、うちのようには、フィルムを現像するというところはほとんどないと思います。ただ、うちは外来時間が短く、レントゲンの照射器（レントゲン室の中にある器械）そのものはあまり傷んでいないし、そのまま行こうかとも思っていました。しかし、さすがに時代遅れ。そこで春からデジタル化を検討していました。